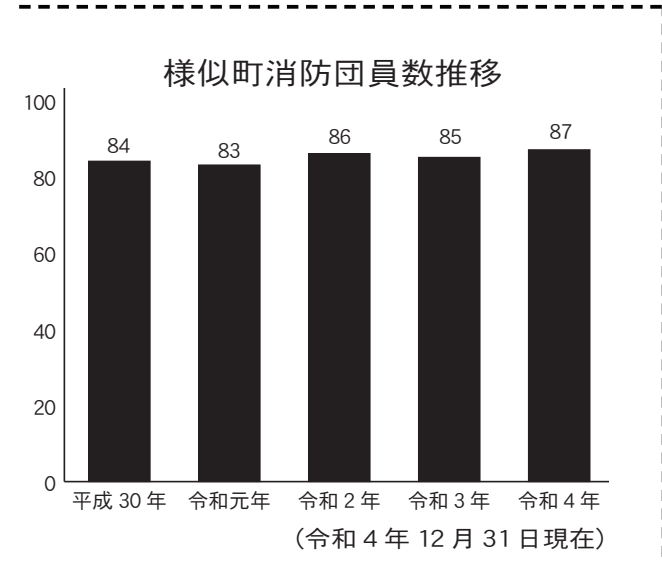


# 様似町消防 団員の推移

様似町の消防団員数を過去5年間で比較すると、少しずつではありますが増加しているものの、定数である120人を下回っている状況です。

また、平成30年と令和4年の年齢状況を比較すると、40歳未満の団員の割合が減少する一方、40代や50代以上の割合が増加しており、団員の高齢化・若年層の加入率が低いことが近年の問題となっています。



	平成30年	令和4年
20歳未満	0	1
20～25歳	6	4
26～30歳	9	8
31～35歳	8	10
36～40歳	15	10
41～45歳	13	17
46～50歳	13	14
51～55歳	4	7
56～60歳	8	6
61～65歳	5	5
66歳以上	3	5
合計	84	87

(令和4年12月31日現在)



# 消防団員 随時募集中！

- ◆入団資格  
町内居住の18歳以上で心身ともに健康な方
- ◆活動内容  
火災発生時の消火活動や救助活動、地震・津波警報による警戒活動などです。  
また、それらの災害に備えて年に数回の訓練を行っています。

様似町消防団では、現在、団員を募集しています！消防団に入団して、地域の安心・安全のために活動し、自分のまちをあなたの手で守りませんか？

- ◆その他  
年報酬、訓練・災害など出勤に応じて出勤報酬が支払われます。5年以上在職すると退職報償金が支払われます。
- ◆問い合わせ  
日高東部消防組合様似支署 (TEL 36-2028)



特集

# 地域を守る消防団

- 大切な人・大切なまちを守るために -

火災や自然災害が発生した時に活躍する「消防団」ですが、どのような人が団員となり、どのような活動をしているのか知らない人も多いのではないでしょうか。  
今月の特集では、様似町の消防団の役割・活動・団員のかたへのインタビューをご紹介します！

- 火災時の活動  
火災発生時には消火活動や消火用水の確保など、消防署と連携し、活動します。
- 災害時の活動  
地震や台風などにより災害が発生した場合、消防署などと連携し、救助活動などを行います。
- その他の活動  
警察や関係者の要請により、行方不明者が出た場合などの捜索活動を行います。

## 消防団の活動

消防団とは、市町村の消防機関であり構成員である団員は、非常勤特別職の地方公務員である一方、普段は仕事をしながら災害時には、消防署と連携して、火災やさまざまな自然災害などの対応や訓練、啓発活動を行う組織のことです。

## 消防団とは

名称	場所	管轄区域
第1分団	会所町	西様似～会所町
第2分団	鶉苫	鶉苫
第3分団	錦町	栄町～平宇・岡田・田代・新富
第4分団	冬島	冬島
第5分団	幌満・旭	幌満～旭

様似町消防団は、団本部と地域ごとに分けられた5分団で構成されています。令和5年4月1日現在で全分団合わせて87名の団員が活躍しています。

## 様似町の消防団組織



# 消防団員に インタビュー

消防団には  
カッコ良さがある！



第3分団（入団26年目）

すなござわ けんいち  
砂子澤 健一さん

消防団は  
とにかく楽しい！



団本部（入団6年目）

さはら しょうこ  
佐原 祥子さん

現役消防団員・女性消防団員のかたに消防団に入団したきっかけや入って良かったことなどお話を聞きました！

## 消防団に入ったきっかけは？

ガソリンスタンドで働いていることを活かし、消防団に入る前から火事の現場に向かい灯油のバルブを閉めるなど活動していました。消防との関りがあったことや友だちも消防団に居たこともあり入団しました。

## 消防団活動で印象に残っていることは？

全道消防操法訓練大会に2回出場したことです。大会練習は今までで一番、真剣に取り組みました。その経験があったからこそ今も消防団を続けられています。

## 入団を考えている人たちへ一言！

交友関係が増え、仲間がたくさんできて、楽しく活動できる団体です。人助けもできて、一生懸命活動している姿にはカッコ良さもあります。ぜひ、入団をオススメします！

## 消防団に入ったきっかけは？

災害が起こったらすぐに駆け付けたい、火事の現場で何かできることをしたい、人を助けたいという気持ちから入団しました。

## 消防団に入って良かったことは？

女性でも活躍できることです。心臓マッサージや人工呼吸などを練習したことによって率先して人命救助ができるようになりました。年齢、性別、業種関係なく活動できて楽しいし、仲間が増えて団結力が生まれました。

## 入団を考えている人たちへ一言！

入って良かったことしかありません！経験が身になり、人とのコミュニケーションにも繋がります。火災予防運動などを通して町の人とふれあえて顔も覚えてもらえます。何より楽しいので一緒にやりましょう！

# 様似町消防団 年間行事予定

月日	行事
1月5日	消防出初式 <b>1</b>
1月中旬	普通救命講習会
4月20日	春の火災予防運動 <b>2</b>
4月下旬	分団訓練
5月下旬	様似町消防団訓練大会 <b>3</b>
6月下旬	日高東部消防技能訓練大会 (浦河・様似・えりも消防団合同) ※3年に1回
8月下旬	北海道消防大会 ※令和5年度は10月に開催
10月上旬	様似町消防団活性化競技大会 (パークゴルフ)
10月15日	秋の火災予防運動 <b>4</b>
11月中旬	独居高齢者世帯防火査察
12月27日 ～29日	歳末特別警戒



消防出初式は、町長や町議会議員、来賓のかたがたの観閲を受けた後、スポーツセンター前国道で分列行進を行います。その後、中央公民館に会場を移し、表彰式を行います。



春の火災予防運動として、今年は4月22日（土）、コープさっぽろ様似店にて街灯啓発が行われました。女性消防団員のほかアポイ岳ジオパークのマスコットのアポイちゃんが買い物を終えたお客さんに啓発グッズを手渡し、火の元に十分気を付けるよう町民に呼びかけました。



今年は5月28日（日）、ふれあい広場で消防訓練大会が開かれました。全職・団員66名が参加し、保健福祉センター前から分列行進を行ったのち、消防訓練礼式、ポンプ操法、模擬火災訓練を行いました。消防団員は、分列行進・消防訓練礼式では一糸乱れぬ見事な行進、小型ポンプ・ポンプ車からホースを伸ばし放水の準備をするポンプ操法では正確な動き、幼児センター調理室からの出火を想定した放水訓練を披露しました。



秋の火災予防運動中には、防火啓発パレードを行い、園児たちの「戸締まり用心、火の用心」のかけ声とともに町内を練り歩く防火啓発や幼稚園児に向けて紙芝居を使った防火啓発を行っています。